

 国土交通省災害対策用ヘリコプター  
「愛らんど」号



国土交通省四国地方整備局

# 災害対策用ヘリコプター「愛らんど」号

災害対策用ヘリコプター「愛らんど」号は、災害発生時に、航空機の持つ特性を活かして、上空から早期に被害状況の把握を行い、地上の現地調査班、連携する関係機関などへ情報伝達することによって、災害応急対策活動が迅速かつ効果的に行えるよう支援することなどを目的に、平成18年9月から就航しています。



【TEC-FORCE隊員(総合指令班)の派遣】



【高松サンポート合同庁舎(北館)ヘリポート離陸】



【機内からの被害調査】

## 主な役割

1. 災害発生直後の初動時に、迅速かつ効果的に広範囲の被害情報の収集を行います。
2. 上空から被害状況や周辺施設等の状況を把握し、地上で作業する現地調査班へ情報伝達することにより、効率的な災害調査を支援します。
3. 災害発生時に緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)や災害調査に使用する資機材などの輸送を行います。
4. 平時には、災害危険箇所の変化を上空から調査し、非常事態に備えた緊急対策・復旧対策の策定に活用したり、災害発生時を想定した災害対応訓練や、所掌施設の管理などに役立っています。

## 国土交通省災害対策用ヘリコプターの配備状況

各地方整備局等に配備されたヘリコプターと連携して災害対策活動を行います。

北海道開発局	「ほっかい」号
東北地方整備局	「みちのく」号
北陸地方整備局	「ほくりく」号
関東地方整備局	「あおぞら」号
中部地方整備局	「まんなか」号
近畿地方整備局	「きんき」号
<b>四国地方整備局</b>	<b>「愛らんど」号</b>
九州地方整備局	「はるかぜ」号

## 高松空港からの到達圏



## 飛行時間および飛行距離早見表

搭乗者			飛行時間	飛行距離
乗組員	災害対策要員	合計		
3名 (操縦士 整備士 撮影技師)	0~3名	3~6名	約2時間56分	約528km
	4名	7名	約2時間45分	約495km
	5名	8名	約2時間31分	約453km
	6名	9名	約2時間18分	約414km
	7名	10名	約2時間04分	約372km
	8名	11名	約1時間51分	約333km

\* 上表は「愛らんど」号が機体重量制限の上限まで燃料を給油して、各空港から離陸する場合の飛行時間及び飛行距離を示す。

\* 上表は平成31年4月1日現在の機体重量による計算結果を示す。

## 四国内における飛行所要時間

通常飛行した場合の区間毎の概略所要時間



# ヘリコプター映像の関係機関への伝送仕組み

災害現場上空から撮影した映像は、ヘリコプター搭載型衛星通信設備(ヘリサットシステム)により、静止衛星を経由し地上局に送られた後、地上通信網を介して、四国地方整備局や各事務(管理)所、関係機関、関係自治体などに配信されます。



# 災害時のヘリコプター被災調査映像

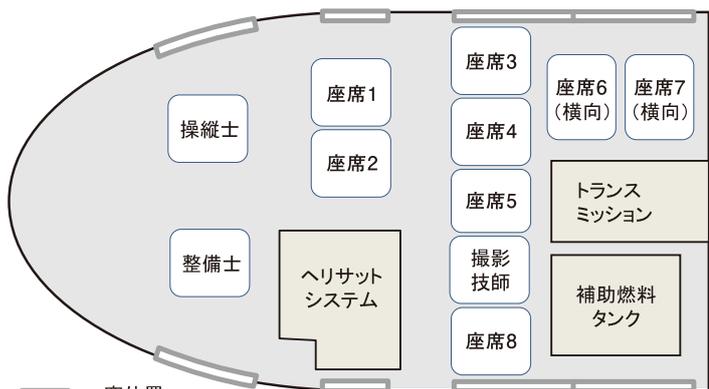
「愛らんど」号の飛行軌跡および搭載している可視カメラで撮影したオルソ画像は、ヘリサットシステムにより、国土交通省で運用している『統合災害情報システム(DiMAPS)』へ自動送信され、地図上にリアルタイムで表示されるため、被害状況(画像)と位置を、即座に確認・把握することができます。



\* オルソ画像とは、空中写真に生ずる写真上の像の位置ズレをなくし、空中写真を地図と同じく、真上から見たような傾きのない、正しい大きさと位置に表示される画像に変換したもので、地図に重ね合わせができる画像。

# 「愛らんど」号の諸元等

## 座席配置図



## 主な諸元

型式	ベル412EP型
国籍登録記号	JA6820
最大重量	5,398kg
全長(ロータ含む)	17.1m
全幅(ロータ直径)	14.0m
最大搭乗者数※1	8名
最大巡航速度※2	180km/h

※1 乗組員(操縦士、整備士、撮影技師)除く。

※2 乗組員(3名)、災害対策要員(8名)及び全装備時における標準値。

## 装備

### 災害調査等に使用する装備品



#### 「通信アンテナ」

ヘリコプター搭載型衛星通信設備(ヘリサットシステム)のアンテナであり、可視カメラで撮影した映像を静止衛星に伝送する役割を担っている。



#### 「機外スピーカ」

地上への連絡や緊急を要する避難情報等の伝達を行うことができる。高度300mで飛行中、その下の地上の半径300m程度の範囲で音声聞き分けられる。



#### 「可視カメラ」

機体中央に外付け装備されており、防振機能を備えた可視カメラで、揺れの少ない安定した画像を撮影できる。レンズ倍率は84倍である。



#### 「サーチライト」

夜間に被災地点を照射することができる。高度300mから照射時、直下の地上での照度330ルクス以上で、新聞を読める明るさである。(通常時は未設置)

国土交通省四国地方整備局 防災室

〒760-8554 高松市サンポート3番33号 TEL: (087) 851-8061 (代表) <http://www.skr.mlit.go.jp/>